

3億円への秘密レポート

こんにちは ウォルトです。

このレポートは、

僕が『中学生時代の経験と会社員として働いたのではお金持ちにならない』

と気づいてから「起業する」という決断に至った過程について話していきます。

内容としては、中学時代、体が大きいだけの人間にボコられて、

こいつらがどれだけ手を伸ばしたところで到底届かないような存在になりたいと誓い、

それなりに良い高校→海外の大学と進み、就職するかどうかの時に

起業という選択肢をたまたま得られた僕が、

起業家に全財産を入れて、弟子入りし、違う世界を目指す物語です。

具体的な金額でいうと年収3億円。

なぜこんなレポートを書いたのかというと、

自分への戒め。初心を忘れない。
決意を固めて行動力をあげるためです。

感情に任せて書いたので
所々言葉が悪い部分があるかもしれません

が、きっと

- ・現状の人生に不満がある人
- ・過去にゴミのように扱われた。
- ・見返してやりたい相手がいる人

にとっては、
希望が得られるかと思います。

そのまま何か一つでも行動を起こすきっかけになれば嬉しいです

それでは始めます。

お金持ちになりたい。

お金があればできることが増える。

時間を気にせず、
予算を気にせず旅行をし続けることができるし、
回らないお寿司や焼肉でも、

「これ食べたらいくらになるんだろう...」と計算しなくてもいい

好きな服を買えないってこともなくなるし、
好きな人のデートに好きなだけお金をかけられるようになる。

プレゼントにもお金をたくさん使ってあげられるようになる。

そして、自分に対して本当の意味で自信を持ちたい

周りの環境や人間に**時間的**にも**精神的**にも**肉体的**にも
拘束されたくない。

責任を擦りつけてくる上司に怒られたりもしたくない。

批判や暴力、でかい声で人をコントロールしようとするような
バカがいない環境に行きたい。

なんでそんなふうに思ったのか。

中学時代、僕は体が小さかった。

体の大きなやつらからの、力の差の前に為す術なく、
ただ耐えるだけの日々を送っていた。

授業中もうるさいし、
教師に反抗しかしていない不真面目な奴ら。

こいつらが自分の気分が悪ければ、腕力に訴えて、他人をコントロールしているような「動物の世界」だった。

機嫌が悪ければ人に当たってストレスを解消する

嫌なことがあれば、
誰かに押し付けてにして自分は好きなことをしに行く

こいつらは、周りの弱いものへ圧力をかけることで、自分が生きやすい世界を作っている。

こんな環境は、クソだ。

僕は精神が満たされている。お互い尊重しあっていて、毎日が充実して、お互い信頼し合っている。そんな環境がいい。

さらに言えば、向上心があり、心の底から「たのしい！」って思える関係を築きたい

もう金輪際、いきなり殴られたり、バカにされたり、嘲笑われたりこんな悔しい思いはしたくない。

今のクソみたいな環境、人間関係から抜け出す唯一の手段が

お金を稼ぐことだ。

お金があれば、ある程度、社会的に認められる

いい大学に行き、いい企業に入り、お金が稼げれば
それだけでも、周りの目が変わる。

そして世の中の問題の99%は

お金で解決できる。

人間関係、時間の問題、健康の問題、精神の問題 すべて。

さっきも言ったけど、旅行も好きなだけできるし、
欲しい車 マクラーレン、マセラティ、ランボルギーニ、
フェラーリいくらでも好きな高級車に乗ることができる

海外旅行だって、
せまくて体が痛くなるようなエコノミーではなくて、
ビジネスやファーストでいけるようになる

周りの人間関係を一撃で解決できる。
お金があれば、職場など嫌な人間関係から離れることができる。

嫌なら会社をやめればいい。
辞められない理由。
それは皆、お金がないからだ。

僕はマイナスの感情も持ち合わせた上で、
「お金を稼ぎたい」と思っている

そんな強い自分になって地元に戻ったときには、
今まで散々、僕を殴ってきた人間を見返してやりたい。

いままで、自分の格下だと思っていた人間に、
圧倒的な経済的格差を見せつけられる気分を
味わわせてやりたい。

中学時代に、僕がぶん殴られていたとき感じていた

「悔しい...こいつらに勝ちたい、ボコボコにしてやりたい...
でも、勝てないしな。こんなの不平等だ！おかしい！！」って
心のそこから絶望させてやりたい。

勉強もせず、ただ毎日愚痴やお酒、
3大欲求から話が飛躍しない日常をおくっている人間たちとは
別の世界にいきたい。

こんなやつらと一緒にいたくない。そんな人生はゴミだ。

変わる！！ 変わりたい！！！！
もっと人生を豊かにしたい！！！！

僕はお金を稼ぐ！

お金があれば自由な人間関係を選べる

お金を気にしながらデートをする必要もなくなる

自分が好きなものを好きだけ買える

好きなことを好きな時に好きなだけやるんだ！！！！！！

そのために絶対にいい学校に入って、いい企業に入るぞ！！！！
そう心に決めていた。

しかし、僕は大学生になり就職活動を真剣に考えるまで
『とある事実』とちゃんと向き合ってこなかった。

それは、
日本にあるどれだけ大きな企業に入ったところで
僕が望んでいる未来を手に入れることはできない

自由な人間関係を手に入れることもできなければ
好きなことを好きなだけすることもできない。

お金もたいしてもらえない。

だから、好きなものを好きだけ買うこともできない

具体的に言えば、

好きな人たちだけで仕事をして、
その職場では理不尽に怒られることもない。
さらに、たくさんお金ももらえる。

休日にはランボルギーニや、フェラーリを買って
好きなだけ乗り回す
たまにふらっと海外旅行をする。

そして、たまに地元に戻れば、勉強しなかったが故に、
大変な職場環境で苦勞している過去の同級生たちを見返してやる

そんな野心を持っていた。

しかし、僕が望んでいたことは、全て叶えられることはない。

このまま普通に日本の企業に入って働いても、
僕の人生が劇的に変わることはない。

平均年収を見ればわかる。

大卒でも400万円前後だ。しかも年々落ちている

あいつらを見返してやりたい。
そのためにもっと多くのお金を稼ぎたい。

そうは言っても

日本の会社の構造上、会社員は、絶対にお金持ちにはなれない。

さらに、人間関係の問題や仕事の進行状況によっては、休むという権利にも関わらず、休みたい時に休めるわけではない

もし日本の企業でエリートサラリーマンになれたとしても、忙殺されてお金を使う時間が得られない。

海外旅行はおろか、国内旅行すらできない。

なら、外資系はどうだ？

日系企業じゃないなら、未来はあるんじゃないか??!!

実際、外資系は日本の企業ほど束縛はない。
プライベートを大事にする意識も強い

しかし、
外資系有名企業で会社員をして年収1000万貰えたとしても、僕の目標は達成されない。

なぜなら、

1000万円というお金を得たとしても、自由になることはそれでもできない。圧倒的にたりない。

さらに、一番の問題が残る。

社会に出てからも暴力は続く

これも僕が知らなかったことの1つ。

暴力は、殴る蹴るなどの物理的な暴力から

罵倒、人格否定、待遇の差、長時間労働に見合わない薄給など

精神的な暴力にすり替えられて続いていくということだ。

外資系であれば、日本の企業ほど優しくない。

できないと周りに判断されれば、
企業側から精神的に追い詰められる。

まるで、ちりとりで集めて端に寄せて、
あの手この手を使い、自主退社を促して消す。

もし仮に自分は仕事がうまくいき2000万円、3000万円という
お金を得たとしても、

身近で暴力が続くのであれば、
それは本当の意味で僕の目的を達成したことにはならない。

1つのミスで自分がさらなる地獄側になる可能性があるし、そこで心を病めば、気付かぬうちに僕が敵としていた人間のようにになっている可能性まである。

こんなの僕が求めていたものじゃない。

この事実を目の当たりにした時には絶望した。

そして、その中から、1つ学んだ。

「人に依存している限りお金持ちになることもできなければ、自分の自由な人生を得ることもできない。」

あ、楽そうに書いたけど、決して1000万円稼ぐエリートサラリーマンになるのが楽とは思っていない。

そのポジションに着くまでには、
数多くの精神的、肉体的な苦痛がある。

蹴落とし合い、同僚、先輩、後輩で足の引っ張りあい、たくさんの根回し、
上司に媚びへつらって、機嫌をうかがって、やっと得られた

1回、2回のチャンスを確実にものにして認められた後も
最高のクオリティで結果を出し続けなければ行けない世界。

20代、30代の時は、毎日10時間ではくならない仕事量

何百時間と残業して、自分の家のやることもやって、
人付き合いもして...

家族ができて家庭をかえりみる余裕もない

いつの間にか、自分が何を好きだったのか忘れてしまうくらいに忙殺される

そのうち、自分は何をもとめてこの会社に入ったのかすら忘れる
なんのために働いて、なんのために生きているのかもわからなくなる

そうやって、追い詰められても、
歯を食いしばって耐えて大学卒業から10年20年とすぎて

ストレスで髪が抜けて、残った髪も白くなるまで耐えて、

やっと40歳、50歳になった時に得られるのが、
年収1000万円というステージだ。

これは社会の鉄則。

どこかの他人がつくったコミュニティに属している限り、

その環境で「強いひとが弱い人をいじめる」構造には変わりがない

ただそれで最終的に幸せに慣れればまだいい。
僕が実際に見た社会というものは、

10代から勉強を頑張り良い大学に入り、
やっと就職できた先で
自分の健康も趣味も家庭もを捨てて
給料を得るために会社に使われ続ける光景だ。

悪いところだと、給料なんて本当にスズメの涙ほど。

月にたった14万円で何ができるんだ。

人間として最低限の屋根と壁のある部屋で寝食をすることしかできない。

そんなわずかな給料をもらうために、
精神が蝕まれる環境で働く。

これではまるで、

僕たちがギリギリ反発しない程度のお金と自由を与えて、

永遠に働き続けて、国への税金を払って

悪い社長たちにお金を運ぶために

『生かされている』みたいじゃないか。

奴隷制度と同じじゃないか。

そんな環境では、僕が望んでいたことは何も達成されない。

たくさん稼いで、
何者にも縛られない人生を手にして、周りの人間を見返す。

無理だ。

僕を虐げてきたやつらに、一矢報いる。

そして、今後、
会社にいいように使われるだけの人生以外のものにするためには
自分でお金を稼ぐしかない

小さなコミュニティで勉強もせず、
ポジションにあぐらをかいて
偉そうにしているだけの人間では、

どれだけ手を伸ばしても届かない雲の上の存在になりたい。

人に使われてお金をもらう。
この枠組みから出ない限り、人生が変わることはないんだ。

そうだ起業。社長になりたい。社長になるしかない。

そのために起業をするんだ。

自分の力でお金を稼げるようになるんだ！

自分の時間を自由に使える。上司はいない。出勤もない。

怒られることもなければ、嫌がらせをされることもない

会社をつくって、
肩書きは、社長だから多少尊敬されるかもしれない。

自分の人生を自分でコントロールできる

社長になれば、社会人1年目でも年間1000万円以上かせげる。

自分の頑張りがすべて自分の結果に反映される平等な世界。

僕が目指している目標は、20代で、年収3億円。

3億円の理由は、

生涯年収が大卒で2,9億円。

エリートサラリーマンで3億3000万円

普通の人が40年以上の時間をかけて
稼ぐ以上の金額を1年で稼いでやる。

僕は起業するときに、そう決意した。

ここからは、『なぜ起業したい』と思ったのか。

そこには2つの理由がある。

それぞれ深掘りして話そうと思う。

=====

1つ目は中学時代。

僕が住んでいたのは千葉県の田舎だった。

中学校は とても荒れていて
万引きもよく問題になっていたし、
昇降口のガラスが割られたり、

先生が持ってきた私物の本が破られたり、
学校に止まっている車に傷がついたりした。

中には先生を殴る生徒までいて、なかなか市内でも問題視されている学校だった。

そんな学校だから、いじめも日常茶飯事で起きていた。

僕も中学2年生のとき、いじめの対象になってしまった。

僕は元々、活発でよく喋るキャラだったと思う。

小学校時代は野球、中学にでは卓球部に入り、
1年生大会で優勝をしたし、
学校生活では、彼女こそできなかったけど、隣の席にいる女子とも仲良く話せていたし、わりとクラスでは中心にいたと思う。

登下校は毎日友達と一緒にだったし、
給食も笑いながら一緒に食べていた。

僕が好きだったソフト麺をもらって、
自分が嫌いな焼き魚をあげたり

中学生らしい、どうでもいいことを全力で楽しめるくらいに毎日学校がたのしかった。

しかし、そんな時間も長くは続かなかった。

僕は昔から、身長が低く、力が弱かった。
入学当初138cmしかなかった。

ただ頭の悪い中学は、
力こそ正義。喧嘩の強い奴が偉い。

サッカー部や、バスケ部の体の大きくて、
筋肉もあって、声が大きい暴力的な男子連中が
集団で学年を支配していた。

その中だと僕はとても同学年とは思えないくらいに小さくて弱いから

「こいつは怒らせても問題はない。
どうせ怒ってもボコボコにできるから問題ない。』

雑魚と認定されていたにも関わらず、よく喋るし、
クラスの女子とも話しているから生意気。うざい。
って思われていたのが原因だと思う。

1年生の時は、さっきもいった通りクラスのみんなど仲良くできたし、
毎日学校生活がたのしかった。

3つ上の兄から聞かされていたような“荒れた中学生生活”とは、か
け離れた楽しい一年だった。

転機は、中学2年生のクラス替えだ。

新しいクラスには、1年の頃仲の良かったクラスメイトは、
ほぼおらず小学校の違う初対面の人たちばかりだった。

それでも不安はなかった。
今までの経験から、また新しいクラスで仲良くやれると信じて疑わなかった。

クラス替えをして登校初日から
僕はこれまでやってきた通り、朝登校して、友達に会えば、挨拶をして友達を作った「おはよう！」と言えば「おはよう！」って返事が返ってくる。

今年もいいクラスになりそうだ！って思ってたし昼休みには、ドッジボールやサッカーをして、仲良くなり、実際、楽しい学校生活が送れていた。

クラスは変わったけど、何も問題なく楽しい学校生活を送っていた。

6月に席替えするまでは。

その席替えで、
僕はクラスのマドンナ的な存在の横の席になった。

(よっしゃ！ラッキー！！隣の子可愛いじゃん！)

席の近い人たちがみんなアニメ好きだったということもあり、共通の話題が見つかり、話が盛り上がりすぐに仲良くなれた。

が、僕がそのマドンナと仲良くなったことが問題だった。

僕とマドンナが仲がいいというのは、クラスを取り仕切っていたサッカー一部のボス猿からしたら非常に面白くない状況だった。

最初の僕への嫌がらせは本当に小さな所からはじまった。
普通に生活していたら、周りは気づかないような変化だった

例えば、朝クラスのボス的な男の子に「おはよう！」と挨拶しても挨拶が返ってこないとか。

挨拶を無視されている僕をニヤニヤ見てる人がいたりとか

あとは、男子同士でふざけてる時のツッコミが平手から、パンチに変わったり。

ツッコミをするたびに着実に威力があがっていった。

最初こそは「痛って～～～な～～～www」みたいにふざけてる余裕があった。

しかし、日に日に嫌な気分になる出来事は増えていって
席替えから1ヶ月もすれば、

先生の目につかない廊下や階段の踊り場でボス的な男の子とすれ違うたびに、肩を殴られるようになっていた。

僕は同学年の男子とすれ違うたびに、
彼らが殴るつもりもなく、少し手を上にあげるだけでも、
体が勝手にビクッと反応して自然とガードを取るようになっていた

給食の後、席に座っていると後ろからいきなり首も絞められたし、
廊下を歩いていたらいきなり足を蹴られた。

サッカーをやっている体の大きな男子が当時の体の小さい僕を蹴れば、足がすくわれ、体は宙にうく。

体が小さい人ではわからないと思うけど、まじで飛ぶ。

受け身が取れるはずもなく背中や肩から地面に落ちる。

それ見て面白がって見ていた全く関係ない、他クラスのサッカー部やバスケット部のヤンチャな男子連中まで、理由なく僕を殴るようになった。

彼らも本当にいきなり肩を殴ってきた。

中には、背負い投げや膝蹴りなどアニメかドラマで何処かで見て学んで新しい技を僕に試す奴らまで現れた。

胸を殴られた時は肺の中の空気が全部出て、呼吸ができなかった。

それでも僕は学校に行った。

小学校から、ずっと「クラスを中心として目立ってきた」その過去とプライドがある。

だから自分が『いじめられている』という事実を受け入れられなかった。

学校には行きたくはなかったけど、不登校にはならなかった。

不登校になったら『いじめられている』と認めてしまうことになるから。

こんな環境は嫌だ。

もう殴られたくない。こんな治安の悪い場所にいたくない。
ひとを殴るような奴らと一緒にいたくない。

まずはどうすればこいつらから、離れられるか？を考え

その後、絶対に仕返ししてやる。
どんな形でもいいからやり返す方法を考えた
それで思いついたのが

お金をたくさん稼いで、
自分がやりたいことをやりたい時に好きなだけする

カッコいい車、美味しいご飯、いい服、いい家
すべて手に入れる。

その姿を見せつけることが最大の復讐になると思った

そのためには、
まずは絶対にいい高校に合格、
その後、いい大学に入って、いい企業に入る。
そうすれば人生変えられる

いい環境に行けば、中学のような人間は一人もいないはずだ！

偏差値45くらいだったけど、
そこから偏差値63くらいの目標の高校に行くために、

夏は10時間学習もした。

もし公立志望で落ちたら、
低い高校に通うことになる可能性がある。

そうなってしまったら、
また同じような時間が高校でも3年間続いてしまうことになる
それこそ、もう立ち直れない。

だから、少しでも目標達成の可能性をあげるために
3科目でいける私立を選んだ。

頭のいい高校には、
基本的に中学のように荒れた連中はいない。
と先生に聞かされていたから、

絶対に落ちたくない。もう殴られたくない。とにかく頑張った。

中学時代、殴ってきたようなバカどもとは、
金輪際関わりたくない

ただ地元の駅前のファミリーマートに中学の連中がたむろしているの
は見かけていたから、『見返してやる。』と同時に『こいつらのようには
ならないぞ。』という気持ちでさらに頑張った。

そうやって中学生ながらに
自分を追い込んで勉強した結果、無事合格。

僕は人生を変えて、見返すための第一歩として、東京の中堅私立高校に進学した。

それにより一切の暴力からは解放された。

「行動で人生が変わるんだな。」
そんな気分だった。

私立だから、比較的にお金持ちの生徒が多いし、東京なのもあって、皆、育ちがよかった。

そうだよ。これが当たり前だよ。
いきなり殴られるなんてまともじゃない。

後から聞いた話

中学時代に僕を背負い投げした奴は、
時代錯誤とも思えるけど、地元のヤンキー集団に入った。
というか、そういう組織が存在してしまうのが僕の地元だ。

少し話は変わるが、
発展途上国など、所得が低い国では、
犯罪率が高い傾向にある報告が数多くある

スラム街などを想像すればわかると思う。

お金と精神の安定は非常に関連深い。

お金がないと、生活に余裕がなくなり、
いろいろ切り詰めて節約して疲れる。
にも関わらず、一向に生活はよくなる。

すると、心に余裕がなくなり人に優しくできなくなる。

お金は大事だ。
誰がなんと言おうとも大事だ。

稼ごう。
お金は心に余裕を生む。

稼がないと、また余裕のない生き方になる

余裕のなさから周りを憎み、
幸せそうな人を見ると暴言を吐く人間にはなりたくない。

いい大学に行こう。
そしていい企業に入って
たくさんお金を稼ごう。
それで死ぬまで豊かで良い人生を送ろう！

お金があれば、暴力的な人間と関わることもない。

もし結婚して自分の子供ができたとしても、

お金があれば、治安のいい学校に通わせてあげることができる。

たぶん僕の子供も体が小さいだろう。

それでも、僕が経験したような思いをせずに済む。

その心は変わらず、大学受験の学部選びは迷うことなく
ビジネス系に行くと、決めていた。

お金の勉強をすることがお金持ちになる方法だと思ったから。

実際に受けた大学はすべて経営学部か経済学部か商学部だった。

ただ今回の受験はうまくいかなかった。

微妙な大学に行くと成功できない。
有名な大手企業に入らないと、見返すことができない。

その気持ちから、難関私大の入試しか受けなかった。

それでも自分なりに、受験勉強は最大限頑張った。

ただ頭がよくなかった。 というか、効率超悪い

これだけ頑張って無理だったら、もう仕方がない。

浪人するとなると、就職に響くかもしれない

それでいい大学に入れないかもしれない。

それなら日本の学歴に縛られない海外の大学に進もう！

英語は、話せないし、海外に行ったことはないけど人生を変えたい。

だから、覚悟を決めて海外の大学に行った。

それこそ、最初の頃は英語も大変だし、大学からの課題もかなり多かった。

食事面もわからないことだらけ、最初の3ヶ月間は毎日同じものを食べた。

150円のビーフチーズバーガーを食べた。

それでも、時間と共に慣れていったし、大学生になり皆大人なこともあり、いじめてくる人間もおらず、また昔のようにグループの中心にいたと思う。

そんな感じで大学生活も3年目、日本にいる友達も就活を考え始める頃、僕も同じようにどんな企業に入るべきか？色々考えていた。

これから話すのは、僕が起業に至った2つ目の理由。

今まで海外にいて、日本の社会が実際にどんなものなのかわからない。とりあえず長期インターンをすることにした。

色々調べた中から

もっとも自分の理想に近い会社を探して、

見つけた、とある公益社団法人にインターンシップのお願いをすることにした。

そこは、一番自分が求めていた条件に近かった企業。

正直、条件だけがきけばめっちゃいいじゃんってなると思う。

- 英語が活かせる。
- デスクワーク、都内でアクセスが良い。
- 給与も良い。
- 福利厚生も十分
- 残業もほぼなし
- 名前もそれなり。
- 音楽関連なので芸能界にも近い業界。キラキラしている
と思った。

実際、音楽業界や芸能プロダクションの社長には一通りお見かけしたり、お話をする機会をいただいた。

当時の僕は、日本の企業の仕組みの中でもお金持ちになれると思っていたくらい情報弱者だったし、良い大学からホワイト企業に入れば人生安泰。

なんて思っていた。世間知らずもいいところだ。

この企業に入れば、誰にも攻撃されず、自分の時間を自由に幸せに過ごせる。

この企業に入れば、お金持ちになれる。
地元の間人を見返すことができると思っていた

実際、職員に聞いたら、初任給は30万円くらい手取りであった年配の社員は結構もらっていると聞いた。

給与面とは別に追加で、伝統芸能や音楽関連と根深い関係がある企業なので潰れない。

AIではできない、クリエイティブな仕事みたいな理由で選んだ。

ただ問題が見え始めたのは、働き始めてから、すぐ。3週間後のことだった。

火曜日の朝、出勤すると会議室から聞こえてくる怒声。

防音対策がされているはずなのに聞こえてくる罵詈雑言や人格否定の数々。

後から、聞いた話によると、30人いる事務所の人間のうち10人は何かしら精神的な問題を抱えていて、5人は過去に一度休職している。

僕がインターンを辞めた後、さらに2人休職に入った。

そしてこの時に悟った。

中学時代は肉体的な暴力。
大人になれば精神的な暴力。

しかも、精神的暴力はガードができない。癒えることもない。

それを止める人間もいない

大人になったら、

肉体的な暴力から精神的な暴力に変わるだけで、
仕組みは変わっていない。

『強いものが弱いものをいじめる』 大人の暴力の方が何倍もひどい

さらに企業に入れば、
そのルールに無理矢理従わなければならない。

この会社でいえば、老人に媚を売る。飲み会には出席しろ。だ。

各部長は皆、65歳をこえた再雇用の人たちだった。
再雇用されている理由は、
後任となるひとがまだ育っていないから。

育っていないのではない、育てていないのだ。

後任がでてくると、仕事を辞めなければいけない。

その業界に長くいるから、
例え、PCでワードすらまともに使えなくても。

再雇用でも、月に70万円ほど
年金とは比べ物にならないくらいのお金がもらえる。

しかも、若い子がちやほやしてくれる。
媚びてくれる。大好きなお酒も楽しく飲める。

さいっこうに楽しい！
自分を立ててくれる。

後任を育ててしまうと、
こんな素晴らしい環境から蹴り出されてしまうのであれば、
誰も後任を育てようとはしない

彼らは自分に媚びなかつたり、飲み会に来ない人、
特に同性で、既婚者、40、50代には厳しい

仕事を多く振り分けるし、
ボーナスに影響する査定では、低くつけられる。

職場の光景を例えるなら、
各部署で老人が自分の国をそれぞれ形成していて。

それぞれが自分の好きな政治を行ってる。

例えば、上司に嫌がらせをされても
自分の身は自分で守らなければならない。

仕事を辞めたければ辞めればいい。

生活できなくなっても知らないけどね。

学校の先生たちや親はすでに守ってくれない。
この環境で耐えるか、仕事をやめて今の生活を捨てるか

この二択しか用意されていない。

先程言った『強いものが弱いものをいじめる』と言う構図は、
会社に限らず、世界全体に存在する。

金持ちが資本主義社会では圧倒的に有利なのだ。

読んで字のごとく『資本』『主義』
お金が一番大事な社会ということ。

朝の満員電車とかまさに社会の縮図だと思う。

世の中には、100時間も働かないで1億円かせぐ経営者もいる。
彼らは基本的に好きな時に起きることができる

仕事は忙しいけど、好きなものが食べられるし好きなものも買える年
収5000万円の雇われ社長。彼らは高級車で通勤。満員電車とは無
縁。

毎朝、満員電車に詰め込まれて、職場では上司にペコペコして、帰
りは終電で帰る生活を送るサラリーマン。しかし、彼らは月に50万円
も、もらえていない。

一番がんばって仕事しているのは、一番年収の低いサラリーマンな
のに

一番、お金をもらっているのは、仕事をしていない投資家。

これは誰が悪いわけではなく、社会の構造が悪い。

強いていうのであれば教えてくれない学校、教育機関が悪い。

僕は運良く、
この社会構造に、二十代前半で気づくことができた。

どうにか、資本家、経営者側にうつる方法はないか？

世の中の金持ちって誰だ？
経営者 起業家

なら会社をつくればいいのか？

じゃあ、会社をつくるにはどうすればいいのか？

家にいる間ずっとお金が稼げそうなことはなんでも調べるようになった。

副業、転職、いい給料の会社
とにかくお金持ちになれる方法を探し求めた結果

年収6000万円の起業家のサイトに辿り着いた。

この起業家は、

大学時代にインターネットをつかったビジネスで起業し、
現在は飲食店やコンサル業を営み、
月に500万円以上の収入を上げている。

さらに時間にも余裕があり、
人間関係も良好で、嫌な上司部下もいない。

インターネットビジネスで得た知識を使って売れない飲食店の代わりに人気にしたり、
アイドルのプロデュースに携わったり、
飲食店を実店舗で出したり
プライベートでは好きなときに旅行したりしているというものだった。

理想の未来すぎる。

僕も稼げるようになって自分の力で人にコンサルしてみたい！
これ超かっこいいじゃん！！！！僕はこれになりたい！！！！

けど、怪しすぎるよな...大学生で500万円???信じられないなあ～
もし仮に怪しくなかったとしても、大学受験落ちてる馬鹿な僕でもでき
んのかな...

考えるのも億劫だったし、「もし頭の悪い僕にはできない」ってわかって
しまったら...と考えると絶望するのが怖い。

あ～考えるのは辞めた 辞めた。
もう2時だから寝なきゃ！って感じで

ブックマークもせず寝た。
それから、当分そのサイトを見ることもなかった。

次の日の朝には、500万円大学生のことなんか忘れて
どうにか稼げる方法を探した

「僕もお金持ちになりたい……」

稼ぐ方法は色々でてきた。
大きなジャンルでくると
FX 投資 転売 MLM プログラミング
こんな感じ。

FXとMLM(マルチ)はまずない。
前に、僕を中学時代に殴ってきたサッカー部の人間が、
成人式と同窓会のために作られたグループラインの人間にメッセー
ジ飛ばして勧誘していたの知っていたし、僕も送られてきたいからい
いイメージがない。

事実FXはほぼ稼げない。

あとから知った話、数千万円稼いでいる人間ですら手を出さないくら
い賭け。
FXだけはやってはいけない。

MLMの形自体は、自分が買ってみて良いものを、友達に紹介して手
数料をもらうという形だから、そのビジネス自体は悪いものではな
い。

むしろ仕組み上はめっちゃいい。ただ稼ごうとすると途端に地獄みた
いなビジネスに変わる。

MLMもあくまで人の手のひらの上で踊っているにすぎない上に
人間関係には上下関係が存在する。

特に、MLMの一番悪い点。

それは、人に商品を紹介するにも、
まずは自分で商品を購入しないといけないから、
在庫が生まれる。在庫処分しないと行けない気持ち、
マルチの上の人間との関わりから心が蝕まれる。

最終的に、余裕がなくなると周りの仲のいい友達に売りつけようとし
始める人が多いこと。印象最悪。

本当に上手にやれない限り、お金も友達も失う地獄のシステム。
MLMで利益を上げられるのであれば、自分でビジネスを立ち上げら
れる。

基本的にやっているプレイヤーは雑魚だからセールスのやり方も教
えてもらえない
つまり、今の自分のままで借金と在庫を抱えて、
自分の力だけでビジネスをやらないといけないのだ

できるだろうか？と考えたら現実的に無理。

プログラミング。
これも副業やスキルを磨くといった面では非常に優秀な選択肢だと
思うけど、独立したいって考えるのであれば、結局自分で案件をとら
ないといけないから、結局セールス力が必要になる。

セールス力があれば自分でビジネスを展開できる。
プログラミング習得に2年も3年もかけられない。

独立して食べられるようになるころには30代だ。
ただこれは、現実的なように見えた。でもぼく根性なしだから続くかな
...のが悩み。

転売 せどりを呼ばれるもの、
このやり方をインターネット上で教えている人たちを見つけた。

彼らはせどり 転売で稼いでいる利益をあげていい生活をしていると
見せかけて、
せどりのやり方を教えるコンテンツビジネス、アフィリエイトというもの
で稼いでいるようだった。

結局はインターネットビジネス
(当時は名前もそれが何かも知らなかったけど)

※アフィリエイトは、いい商品を買って手数料をもらう。
MLMと違うのは、自分が商品を購入する必要がないこと。
自分で商品を選ぶこと。

これ安全じゃん。

あれ？そう言えば、
この前見た大学生起業家も、アフィリエイトとかいってたな…。

【アフィリエイト 怪しい】で検索すると
最初こそ、怪しいとは思っていたものの、
調べていくうちにそんなに怪しいものでもないということがわかった。

3200億円規模だったし、
なんとアマゾンまでアフィリエイトを取り入れてる！！！！

あのドバイ在住の与沢翼さんも、
インターネットビジネスから入って資本を作ったというのであれば怪し
くないでしょ！！！！

よし、もう一回だけ、見てみよう！

そして彼のサイトを見てみると、
彼自身も元々は貧乏だったけど、勉強することで稼げるようになった
人だった。

今の時代は皆にお金持ちになる権利が与えられている、とても良い
時代。

今は、インターネットを使えば
ニートでも不登校でもブサイクでもチビでもバカでも、
顔を晒すことも家の外にでることもなく、
誰でも人生を逆転できる。

インターネットを使ったビジネスは貧乏でも挑戦ができる。

資本がない、手持ちのお金がない人間であってもお店を構える必要はない。

インターネットがお店の代わり。

インターネットビジネスは、
ビジネスの基礎から応用まで学ぶことができる上に、
芸能人やアイドル、モデル、芸人、タレントや有名な社長とも
将来的には出会うことができる

そこで得た知識を使い、飲食店、キャバクラ、アイドルプロデュースを
して、さらに大きな業界に行った人もいる。

投資で稼ぐにも、
まずは100万円を1年かけて120万円にしたところで、
脱サラができるか？と言われたら厳しい。

1億円を1億2000万円にできればいいのだけど、
大きな元手が必要になるから、まずはビジネスで元手を稼がないと
いけない

彼のブログにあったメルマガ登録をして、
毎日届くメールには、面白い世界がたくさんあった。
大学でビジネスを勉強しているのにも関わらず、僕はビジネスのことを
何にも知らなかった。

毎日現場に出る社長は頭がよくない。

社長のやるべきことは、利益を出すことであって、現場の監督をすることではない。

その時間を利益を追求するために
社長にしかできないことに使え！

もう、目から鱗

それから数日後、
僕がここまで稼げるようになった集大成を教えます。
という案内が来た。

これまで、いじめられたり、受験に失敗して常に弱い側にいた。
でも、それも時間が解決してくれた。

しかし、今回はどうだろうか。お金、貧乏。

資本主義の中で、生きている限り
生涯お金の問題は付き纏ってくる。
貧乏でいる限りずっといじめられるかもしれない。

僕も向こう側に行きたい！！！！！！

反対に言えば、お金持ち側に行けば、常に強者でいられる。

そして、その案内に参加した。

PDFと動画の教材。

何度も何度もインターンに行く電車の中で聞いた。
おじさんに潰されながらも、これで人生を変えるんだ。
と、スマホを必死に掴んで何度もPDFを読んだ。

ビジネスを大学で学んできたのに、何にも知らない自分に驚いたのと同時に、この世の会社の構造が見えたりしてきた面白かった。
世の中の広告やCMの作り方。

人間心理、洗脳、ビジネスの勉強は、お金お金して、
ギラギラしているっていう感じではなかったし、
全然汚い世界でもなかった。

中には悪い方法の人もいるのかもしれないけど
多くの起業家、経営者は皆、愚直に知識、
経験に時間とお金を投資して、
挑戦を繰り返してきていた。

実際に僕もその教材の通りにビジネスを展開して、
3ヶ月後には、月に1~2万円程度自動で稼げるようになった。
多い時には4万円も入った。

最初こそ勉強することが多かったものの、
本当に何もせずに収入が生まれてしまった。

カラオケで2時間歌って、外に出たら初収益 2万円。

「勝った！勝ったぞおおおおおお
お！！！！」

中学ではボコられて、大学受験に落ちた僕でも稼げた……

僕もこれで向こう側、資本家の方にいける！！！！

そう思っていた。

ワクワクしたし、もう人生上がり！僕の勝ち！！！！とっていた矢先の4ヶ月目、

収入が途切れてしまった。

まったく商品が売れなくなった。

「なんで？なんで売れなくなったの？
わからん。もうやりたくねえな」

「センスがなかったのかな。」

何が原因かわからない。

僕が稼げるようになったのは、
完全に知識にお金を投資してその通り素直に行動した
からだ。

もちろん初めて、稼げたことが嬉しかった。
知識があれば稼げるってこともわかった。

勉強量はそれなりにあったけど、
何もしないでダラダラしてても4万円が手元に入る

その成功体験があったので、自分に足りないのは知識だ！
知識が足りない！！！！と、さらに知識投資をするようになった。

しかし『行動してまた失敗する』のが怖くなって知識だけは増えるものの、積極的に行動できなくなるジレンマにハマった。

いわゆるノウハウコレクターと言うものになってしまったのだ

稼げなくなってからノウハウコレクターを1年くらい続け卒業まで数ヶ月に迫った。

もういい加減。人生を決めないといけない。

今は学生として時間がある。

ただこのままお金が稼げなければ、そのまま就職して、働き続けるだけの人生になるかもしれない。

これから定年までの40年間、人生の8割を仕事に捧げて、自分の目標も叶えることなく、

何も残すことなく、ただ平凡、

もしくはそれ以下で終わってしまうのかもしれない。

せっかく一度きりの人生なのに。

40歳でも50歳でも60歳でも成功できる人はできると思う。でも僕はそんな行動力あるだろうか

諦めて、頑張っている周りの人をバカにして、「けっ、何が起業だ。夢見んなwww」って馬鹿にするような大人になりたくない。

時間がある時に、結果を出さないと...

会社で働くと、人生が蝕まれる。
7日中5日も、夜遅くまで働くのなんておかしい。

「嫌だ。」

会社で働いて、人生を蝕まれたくない。

そうだ。また調べよう。
困った時には調べてきたじゃないか。

そんな時に、**出会ったのが今の師匠である。**

彼の場合は、学生時代、僕と同じようにボコボコにされて、
その環境から抜け出すために
良い高校、良い大学、大学院へと進み

日本人であれば誰もが知っている世界的に有名な超大手企業に入社した。

しかし、大手だからといって安定した人生ではなかった。

企業は社員の人生を完全掌握、完全支配される。
休暇であっても好きなこともできない。

有給は精神的に辛くなって通院するために使うから、
とっておきなさい。

っていうのがその会社の先輩からのアドバイス。

大手に入ったところで好きな人と時間を使うこともできない。

まさに、精神的な暴行を受けていた。

その師匠もそんな状況から、
人生を変えるためにインターネットで起業した人間の1人だった

初月には30万円、半年後には100万円以上稼げるようになった実績
を持っていて、

現在は法人案件をいくつか抱えている。

師匠は、大手にいたが故に周りからの批判も多かったはず
「もったいないよ」「あいつ迷走してんだろ...」

そんな言葉を跳ね除けて、起業している。

今の自分はどうかろう。なんて失うものはない。

今、すでに僕は時間を無駄にし続けているじゃないか。
このまま時間を失い続けていいのだろうか

もし去年成功できていればこの1年間もっと遊んで暮らせたんじゃないか？

もっと楽しい思いができたんじゃないか？

早く成功したい...

そもそも、なぜこの人は初月から結果を残せたんだ...

しかも右肩上がりで結果を残し続けているんだ...

この時には、
もうすでにインターネットでのビジネス＝怪しいっていう
先入観はなくなっていたからすんなりと受け入れることができた。

実際に、僕が商品を売った時には感謝もされたから、
悪いものではないこともわかっていた。

大学卒業前に結果を出したい

ニートになるわけにはいかない。

その思いから、彼のブログを漁って、連絡先を見つけて、
鬼のように連絡を送った。

頼まれていないのに自己紹介の長文メッセージを送った。
その甲斐もあってか、1対1でお話をさせていただく機会を得た。
多分めっちゃめっちゃ迷惑だったと思う。

実際に、起業家とお話するのは初めてだったから、
聞きたいこと、知りたいことをノートにまとめてZOOMに望んだ。

実際に話し始めると、師匠の知識量に圧倒されるばかり。、
僕が教材をどれだけ買っても、頭を絞ってもわからなかった利益が止
まった理由さえも10秒でピンポイントに答えられてしまった。

「ビジネスは頭を絞ったところで出てくるものじゃない。
出てこない場合は、リサーチ不足。勉強不足。」

自分の頭に答えはないらしい

ノウハウコレクターになっている現状についても見抜かれた。
行動全然してないよね。
ってか商品出しなよ。別に売れなくてもよくね？

人間としても魅力が多すぎ

ビジネスって結局のところはお金と商品を交換するコミュニケーションだから、
稼げるビジネスマンというのは本当に魅力的なコミュニケーション能力を身につけている。

お客様の心を動かして買ってもらう術を知っている
その上で、感謝される。

例えば、僕が興味惹かれたスキルは、セールス。

そういった話を聞いているうちに、
もうこの人にお願いするしかないと。
この人の元でビジネスを学びたい。

そう思った時には、すでにコンサルをお願いしていた。

聞かれてもいない自己紹介をしたし、過去についても話したし、
自分が変わりたい理由、なりたい理想の自分。

本来であれば恥ずかしくて見せられない自分だけど、もうこの際、どうにでもなれ！

飛び込んでやると、全てをさらけ出して突撃した。
どうしようもないくらい迷惑だと思うけど、もうどうしようもないんだ。

【お金は稼げてもチャンスは稼げない。】
そんなどこかで見た言葉が頭をよぎった。

今回は鬼のようにオファーして電話する機会をもらったんだ

この機会を逃したらだめだ。

今度もやばいくらいオファーして、絶対にコンサルしてもらうんだ！

と、コンサルに受け入れてもらうまで電話を切らないつもりでいた。

僕がお願いした時は新規法人案件を抱えていて、忙しい。

それでも、「僕は次の春に大学を卒業します。この一年で人生を変えたいんです。今まで……」みたいに話し続け、どうにかこうにかコンサルを…コンサルを…とお願いし続けたら
「よーし。仕方ないな笑。250万円。250万円で1年間教えてあげる。」

250万円

250万円は高い。高いけど、これで人生変わるしな....。

今まで勉強はしてきた。だから、あと250万円払って正しい知識を正しい方向性で強制してもらえばお金持ちになれる。

それなら安いでしょ。

このまま生きていても、
欲しいものも買えない。
好きな服も買えないし美味しいものを食べる余裕もなくなる。

またあの言葉がよぎる。

『お金は稼げるけど、チャンスは稼げない。』

僕はいじめられていたし、大学受験も全落ちするくらいバカだし、

ノウハウコレクターだけど...勉強して、
ブサイクだけど形にすることで
一度は自分の力でも稼ぐことができた。

少し勇気を出して、手の伸ばした先では、
誰もが成功できる世界がある。

それが起業の世界

もちろん無知、勉強せずには成功できない。

反対に言えば、正しい知識を入れて行動すれば

家柄、出身地、国籍、学歴、性別も関係なく
自分の力でお金を稼げて、

それも才能に依存しない。

正しく知識をつけて実践すれば

誰でも会社員としてもらう給料の数倍は稼ぐことができる

多くの人はその世界があることも知らず、

仮に知ったとしても疑って、

目先のお金数万円、数十万円に執着して

飛び込むことができずに人生を終える。

僕はそんな人生なんて嫌だ

今、飛び込むことができないのであれば、
この先なんにもできないまま死ぬ。

何も残せないまま時間を無駄にして
死ぬ間際になって「やっておけばよかった...」
と後悔するだろう

そうだ!!! 高いけど、これは必要な投資だ。
多少の金銭的リスクを取ろう。

たった250万円じゃないか 死ぬわけじゃあるまい。

これからの60年以上の人生が変えられるなら安い。

バイトでも250万円なんて稼げるし。

年間4万円 月3000~4000円 1日150円

大学では400万円以上のお金をかけて学んだのに、
ビジネスのことを何1つ知らなかった。

僕が今から買うのは車や、楽器や時計ではなく、知識だ。

知識は、未来永劫。僕が死ぬまで使い続けられるものだ

知識の力で僕でも一度は利益を生むことができた。

今回は、直接トップレベルの現役プレイヤーから徹底的に教えてもらうことができる。

彼の年収から時給換算したら、相当コスパ悪いと思うそれでも提案してくださった。

ここで飛び込まなかったら一生後悔する。

いくしかない。

インターンもバイトもこれで無駄にならなかった。
なんの目的もなく、だらだらと働いて貯めたお金が初めて意味を持った瞬間。

これはコンサルを受け入れていただいた後聞いた

数千億の資産を有している資産家の話。

「経験になるもの投資しろ」

これだけの成功者が言うのだからおそらくあの時の僕の選択に間違いはない。

車でも、時計でも、家でもない
見栄ではなく、経験に投資する。

実際にコンサルを始めていただいてからというもの、

スピードが速すぎる。

以前であれば、うだうだと1、2ヶ月と計画をこねくり回していたところを、師匠がたった1時間で戦略を立て終わり、今後の計画の実行について話しはじめる。

具体的な行動案。

実行するにあたり、僕に足りない知識を提供してくれる。

僕が間違っただけをすれば、

叱って強制して正しい方向にコントロールしてくれる。

師匠の脳で、僕がその通りに作業をする。

ぶっちゃけ勝ちゲー。

そりゃそうでしょと。

例えるなら、

プロ棋士の羽生さんや藤井くんが戦略を考えて、

僕は言われた通り駒を動かすような感じ。その中で練習して勉強していく。

そりゃ〜いいものになるに決まってるじゃん

段々と資本家に移るための流れが見えてきた。

①知識投資→②その情報を徹底的に学ぶ→③ビジネスに転用する→④儲けたお金でさらに勉強する→⑤学ぶ→⑥投資する→以後、繰り返し。

ここで難しいのは、面倒見がよかったり、正しい知識を持った人間を
見つけて、
師匠になってもらうようにお願いしなければならない。

これは正直、運が9割。

僕の場合は運がよく、共感できて、
このひとなら素直についていける。

そんな最高の師匠を見つけて、最高の環境で勉強できた。

見つけたのは、
「運が9割」って言ったばかりだけど、
残りは運だけじゃなかった。

他に2つある。

行動力:調べまくる。
決断力:怖くても飛び込む。

この環境に出会えたのは、徹底的に調べまくった上での、運。

そして最終的にこの環境に飛び込む決断ができたのは、自分の力。

見返してやる。って言う気持ちはもちろんまだある。

けど、これを書く前の自分と描き終わる今の自分を見比べてみたらあ
まりにも早いスピードで成長しすぎてしまったが故に、

見返すのは簡単すぎるかも？

ぶっちゃけると勝ちが約束されてしまって
もう過去に人間に対しての憎しみの感情というよりは、
師匠、カッコいい人への憧れ、
知識でお金を稼ぐ人間への憧れの気持ちも含まれた目標もでてきた

3億円あれば見返せるっておもったけど3億円すら通り道かも？

もっと知識を増やして、大きくなりたい。

日本を代表する経営者の中に入りたい。

前澤さん 孫さん ホリエモン 僕
みたいになりたい。

その時には、また、ここに追記したい。と思う。

=====

ここまでの長文読んでいただきありがとうございました

これは

僕が普通に働いたのでは、お金持ちになれない事実気づいてから
起業に至るまでの過程をバックグラウンドを振り返りながら、話した
ものです。

このレポートを読んでいただいてどのように感じたでしょうか？

ダサい？無価値？

それとも、カッコいい？

俺には無理だ。私には無理だ。

もう遅い。もっと早く出会いたかった？

僕も一度は疑いましたが、
「ビジネスは知識ゲーム」

- 長い文章を書いても支離滅裂にならない文章の型
- 興味のない人でも、目を止めてしまう文
- 人がものを欲しくなるテンプレート
- 相手が思考停止で高額商品を買う独裁者や指導者も使っていた技
- 商品を買った上で感謝されるビジネス作り
- 恋愛にも使える心理技術

こう言った技が存在します。
これは生まれや育ちは関係なく

言葉を覚えることができれば誰でもできるものであり、
スポーツのルールを覚えるようなものです。

ビジネスでは、人間を理解することが大事です。

なぜならお金を払ってくださるのはお客様は人だからです

そのうちの1つに、

人はすぐ忘れる。
人は行動しない。
人にはレベルの差がある。
という原則があります。

ここまで読んでくださった方は、
既に『行動しない』と言う壁を取っ払えているトップレベルの方です。

これ当たり前でしょ！って思っているかもしれませんが

あなたにとっての当たり前は当たり前ではありません、
びっくりするくらい、人は適当です。

その点で言えば、
ここまで読んだ方はビジネスに向いていると思います

僕は昔文章読めませんでしたからね。
レポートなんて送られてきてもURLすら開かなかったと思います。

もう一つの壁『人は忘れる』を超えるために、アウトプットとして
どんなことでもかまいません。

感じたこと、思ったこと
悩んでいること

このレポートを通して得た感情どんなものでもいいので
僕にシェアしてもらえると嬉しいです

最後に『人間には差がある』

同じ話でも理解できるレベルが違います
イチローが見る野球と小学校だけ野球していた僕では見える世界が違
います。

それと同じようにビジネスでも同じことが起きます。

僕からしたら、これやばいじゃん笑 知れてラッキー
人に教えたくね〜〜っていう情報に出会うこともあります。

僕の場合
ブログ Youtube Twitterなどを通して、
日々の学びのアウトプットをしています、

たまに教えたくないけど、アウトプットしないと身につかない。ということをこのLINEで配っていきます。